



2021年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2020年10月28日

上場会社名 株式会社 小松製作所 上場取引所 東
 コード番号 6301 URL <https://home.komatsu.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 啓之
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 渡辺 晃利 TEL 03-5561-2616
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	957,717	△21.1	60,342	△57.5	58,530	△54.3	37,294	△58.6
2020年3月期第2四半期	1,213,485	△7.9	141,982	△29.1	128,212	△33.4	90,062	△28.2

(注) 四半期包括利益 2021年3月期第2四半期 49,866百万円 (84.5%) 2020年3月期第2四半期 27,024百万円 (△84.7%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	39.48	39.46
2020年3月期第2四半期	95.40	95.32

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	3,594,476	1,866,710	1,777,598	49.5	1,880.99
2020年3月期	3,653,686	1,856,225	1,771,606	48.5	1,875.47

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	55.00	—	39.00	94.00
2021年3月期	—	18.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	25.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,119,000	△13.3	134,000	△46.6	127,000	△43.1	80,000	△48.0	84.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 0社（社名）、除外 0社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	972,887,610株	2020年3月期	972,581,230株
2021年3月期2Q	27,855,307株	2020年3月期	27,959,273株
2021年3月期2Q	944,084,657株	2020年3月期2Q	943,695,386株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのことをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動、及び国内外の各種規制並びに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

(参考) 2021年3月期第2四半期(3カ月)の連結業績(2020年7月1日~2020年9月30日)

(百万円未満四捨五入)

連結経営成績(3カ月)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	498,986	△17.3	33,423	△50.3	30,033	△51.0	21,043	△50.6
2020年3月期第2四半期	603,718	△10.2	67,222	△35.5	61,302	△38.4	42,586	△31.8

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	22.27	22.26
2020年3月期第2四半期	45.11	45.07

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 6
2. その他の情報	P. 7
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 7
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 7
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 7
3. 四半期連結財務諸表	P. 8
（1）四半期連結貸借対照表	P. 8
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 10
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
（4）継続企業の前提に関する注記	P. 13
（5）セグメント情報	P. 13
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツは、2021年の創立100周年とその先の成長を目指し、2019年4月より2022年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「DANTOTSU Value - FORWARD Together for Sustainable Growth」をスタートし、①イノベーションによる価値創造、②事業改革による成長戦略、③成長のための構造改革を成長戦略3本柱として掲げています。新型コロナウイルスの世界的大流行により経済活動が停滞しているものの、将来に向けて収益向上とESG（環境・社会・ガバナンス）の課題解決の好循環による持続的成長を目指して活動を継続していきます。

本中期経営計画の2年目となる2021年3月期の第2四半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）において、連結売上高は9,577億円（前年同期比21.1%減少）となりました。建設機械・車両部門では、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、北米、欧州・CIS、アジアを中心に需要が減少したことから、売上高は前年同期を下回りました。産業機械他部門では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、鍛圧機械、板金機械及び工作機械の需要が低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。

利益については、固定費の削減に取り組んだものの、建設機械・車両部門の販売量減少及び地域構成差などにより、営業利益は603億円（前年同期比57.5%減少）となりました。売上高営業利益率は前年同期を5.4ポイント下回る6.3%、税引前四半期純利益は585億円（前年同期比54.3%減少）、当社株主に帰属する四半期純利益は372億円（前年同期比58.6%減少）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 109.0円 1ユーロ = 121.6円 1元 = 15.8円	当第2四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 107.1円 1ユーロ = 121.4円 1元 = 15.2円	増減率 % [(B-A)/A]
売上高	1,213,485	957,717	△21.1%
建設機械・車両	1,111,674	876,550	△21.2%
リテールファイナンス	34,783	32,752	△5.8%
産業機械他	73,729	64,938	△11.9%
消去	△6,701	△16,523	—
セグメント利益	140,689	60,757	△56.8%
建設機械・車両	129,833	52,217	△59.8%
リテールファイナンス	6,810	4,682	△31.2%
産業機械他	4,039	4,102	1.6%
消去又は全社	7	△244	—
営業利益	141,982	60,342	△57.5%
税引前四半期純利益	128,212	58,530	△54.3%
当社株主に帰属する四半期純利益	90,062	37,294	△58.6%

（注）セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

[建設機械・車両]

建設機械・車両部門の売上高は8,765億円（前年同期比21.2%減少）、セグメント利益は522億円（前年同期比59.8%減少）となりました。

中期経営計画の成長戦略3本柱の1つであるイノベーションによる価値創造においては、鉱山向け無人ダンプトラック運行システム（AHS）の強化を重点項目の1つとして進めてきた結果、9月末時点の総稼働台数は累計260台以上となりました。鉱山のお客さまの安全性向上及びオペレーションの最適化に加え、新型コロナウイルスによる生産性低下などのリスク低減に貢献するソリューションとして、引き続き鉱山現場の自動化を進めていきます。

また、同じく重点項目の1つである、建設現場向けソリューション「デジタルトランスフォーメーション・スマートコンストラクション」については、国内及び海外のお客さまの施工の最適化に貢献するソリューションとして訴求し、国内においては既存の従来型建機にICT機能を提供するレトロフィットキットや、土木工事で使用されるダンプトラックの稼働をモニタリングするアプリケーションの導入を順次進めています。引き続き建設現場のデジタルトランスフォーメーション実現を加速させていきます。

事業改革による成長戦略においては、鉱山事業の更なる強化として、コマツマイニング商品のブランド統合を進め、また、戦略市場でのアフターマーケット強化の取り組みとして、延長保証プログラムの保証期間を更に延ばした新たなプログラムの提供を進めており、中国、タイ、インドネシアに加え、9月よりインドにおいても提供を開始しました。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 [A]	当第2四半期 連結累計期間 [B]	増減	
			金額 [B-A]	増減率 % [(B-A)/A]
日本	148,738	132,208	△16,530	△11.1%
北米	291,405	204,120	△87,285	△30.0%
中南米	148,660	125,316	△23,344	△15.7%
米州	440,065	329,436	△110,629	△25.1%
欧州	107,747	79,594	△28,153	△26.1%
CIS	70,833	47,962	△22,871	△32.3%
欧州・CIS	178,580	127,556	△51,024	△28.6%
中国	61,444	71,887	10,443	17.0%
アジア(※)	115,475	52,396	△63,079	△54.6%
オセアニア	103,050	102,183	△867	△0.8%
アジア(※)・オセアニア	218,525	154,579	△63,946	△29.3%
中近東	13,634	11,807	△1,827	△13.4%
アフリカ	48,327	36,841	△11,486	△23.8%
中近東・アフリカ	61,961	48,648	△13,313	△21.5%
合計	1,109,313	864,314	△244,999	△22.1%

(※) 「アジア」は日本及び中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

日本では、公共工事などの稼働においては新型コロナウイルス感染拡大の影響は小さかったものの、民間工事の停滞や営業・サービス活動制限の影響があり、売上高は前年同期を下回りました。

<米州>

北米では、新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の停滞を受け、レンタル向け及び原油安の影響によるエネルギー関連向けの一般建機の需要が落ち込んだことに加え、鉱山機械の需要が低調に推移したことにより、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

中南米では、ブラジルにおいて一般建機需要が堅調に推移したものの、その他各国の需要は低調に推移したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、主要市場であるドイツ、英国、フランスなどでの需要が低調に推移しており、売上高は前年同期を下回りました。

CISでは、金鉱山向け需要は堅調であったものの、石炭向け鉱山機械需要が低調に推移したことなどにより、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

<中国>

中国では、新型コロナウイルス感染終息後のインフラ投資などの景気下支え策により需要が引き続き好調であり、国産メーカーの販売比率は上昇しているものの、需要増加を着実に取り込んだ結果、売上高は前年同期を上回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、最大市場であるインドネシアにおける燃料炭価格の下落に伴う鉱山機械の需要低迷に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、インドネシア、インド、フィリピンなどの一般建機需要が低調に推移したことなどから、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

オセアニアでは、鉄鉱石向け鉱山機械需要及び一般建機需要が堅調に推移し、売上高は前年同期並みとなりました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、トルコで需要が回復基調であるものの、原油価格の低迷及び新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより引き続き各国で需要が低調に推移しており、売上高は前年同期を下回りました。

アフリカでは、南部アフリカ地域において、新型コロナウイルス感染拡大に対する政府による経済活動の規制が続いた影響に加え、鉱山機械需要が減少したことなどから、売上高は前年同期を下回りました。

[リテールファイナンス]

リテールファイナンス部門では、北米を中心に資産が減少したことに伴い、売上高は327億円（前年同期比5.8%減少）となりました。セグメント利益は、支払猶予の影響及びリースアップ車の評価を見直したことなどにより、46億円（前年同期比31.2%減少）となりました。

〔産業機械他〕

産業機械他部門では、鍛圧機械、板金機械及び工作機械については新型コロナウイルス感染拡大の影響により需要が低調に推移したことに加え、海外のお客さまの現場における据付け作業の遅延により、売上高は649億円（前年同期比11.9%減少）となりました。セグメント利益については、半導体市場向けエキシマレーザー関連事業の売上げが堅調であったことから、41億円（前年同期比1.6%増加）となりました。

コマツ産機（株）では、本年8月より、プラズマ切断技術をリードするコマツ独自のテクノロジーを集約した中厚板のオールラウンド切断機である、高性能プラズマ切断機ツイスター「TFPL10-6」「TFPL08-6」の販売を開始しました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報**＜財政状態＞**

当第2四半期連結会計期間末は、たな卸資産が増加した一方、米ドルなどに対して為替が前期末に比べ円高となったことに加え、売上債権や現金の減少などにより、総資産は前期末に比べ592億円減少の3兆5,944億円となりました。有利子負債残高は、前期末に比べ463億円減少の9,660億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ59億円増加の1兆7,775億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ1.0ポイント増加の49.5%となりました。

＜キャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が増加したものの、受取手形及び売掛金の回収が進んだことにより、1,525億円の収入（前年同期比167億円の収入増加）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、800億円の支出（前年同期比266億円の支出減少）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いなどにより、870億円の支出（前年同期は136億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ131億円減少し、2,344億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

＜今期の見通し＞

上期は、建設機械・車両部門において、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、建設・鉱山機械の需要は、北米、欧州・CIS、アジアを中心に減少しましたが、下期においては、中国が引き続き堅調に推移するとともに、北米、日本などにおいても回復基調に入ることが想定されます。また、中期経営計画の重点活動である成長分野への投資は継続的に実施していくものの、プロジェクトの優先順位の見直しや業務改善などによる固定費削減の効果が見込まれ、当初想定を上回る業績が想定されるため、売上高及び利益を修正するものです。

また、為替については、業績予想の前提となる為替レートのうち、ユーロの見直し（下期平均の為替レートを1ユーロ124円に変更）を行い、通期平均の為替レートは、1米ドル=106.1円、1ユーロ=122.7円、1人民元=15.1円となります。

（前回通期平均の為替レート見通し 1米ドル=105.6円、1ユーロ=116.7円、1人民元=15.0円）

■2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A) (2020年7月30日公表)	2,068,000	115,000	108,000	67,000	70.93
今回修正予想 (B)	2,119,000	134,000	127,000	80,000	84.67
増減額 (B-A)	51,000	19,000	19,000	13,000	
増減率 (%)	2.5	16.5	17.6	19.4	
前期実績 (2020年3月期)	2,444,870	250,707	223,114	153,844	162.93

＜利益配分に関する基本方針及び当期の配当＞

当社は、持続的な企業価値の増大を目指し、健全な財務体質の構築と競争力強化に努めています。配当金につきましては、連結業績に加え、将来の投資計画やキャッシュ・フローなどを総合的に勘案し、引き続き安定的な配当の継続に努めていく方針です。具体的には、連結配当性向を40%以上とする方針です。

このような基本方針のもと、当第2四半期末の配当金につきましては、本年7月30日に公表した前回予想値のとおり1株につき18円といたしますが、当第2四半期末までの業績並びに今後の事業展開を勘案し、期末配当金の予想については、前回予想から7円増額し、1株につき25円に修正いたします。これにより、当期の年間配当金は1株当たり43円となり、前期（2020年3月期）実績から51円減配、連結配当性向は前回予想を維持して50.8%となる予想です。

前述の将来の業績に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動、及び国内外の各種規制並びに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

2. その他の情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更
 - ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更
該当事項はありません。

 - ②①以外の会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2020年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び現金同等物	247,616		234,454	
定期預金	2,057		1,399	
受取手形及び売掛金	744,395		669,907	
たな卸資産	805,309		838,901	
その他の流動資産	147,413		131,429	
流動資産合計	1,946,790	53.3	1,876,090	52.2
長期売上債権	420,918	11.5	426,638	11.9
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	38,210		38,014	
投資有価証券	7,328		7,698	
その他	2,436		2,538	
投資合計	47,974	1.3	48,250	1.3
有形固定資産	757,679	20.8	757,463	21.1
オペレーティングリース使用权資産	53,454	1.5	54,487	1.5
営業権	157,521	4.3	158,834	4.4
その他の無形固定資産	162,062	4.4	162,840	4.5
繰延税金及びその他の資産	107,288	2.9	109,874	3.1
資産合計	3,653,686	100.0	3,594,476	100.0

区分	前連結会計年度末 (2020年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（負債の部）				
流動負債				
短期債務	483,658		380,289	
長期債務 －1年以内期限到来分	118,880		57,339	
支払手形及び買掛金	220,160		194,054	
未払法人税等	23,169		22,317	
短期オペレーティングリース負債	14,933		14,662	
その他の流動負債	297,825		301,336	
流動負債合計	1,158,625	31.7	969,997	27.0
固定負債				
長期債務	409,840		528,427	
退職給付債務	96,392		95,476	
長期オペレーティングリース負債	38,624		39,752	
繰延税金及びその他の負債	93,980		94,114	
固定負債合計	638,836	17.5	757,769	21.1
負債合計	1,797,461	49.2	1,727,766	48.1
（純資産の部）				
資本金	68,689		69,037	
資本剰余金	136,459		136,587	
利益剰余金				
利益準備金	46,813		47,258	
その他の剰余金	1,699,477		1,699,110	
その他の包括利益（△損失）累計額	△130,666		△125,409	
自己株式	△49,166		△48,985	
株主資本合計	1,771,606	48.5	1,777,598	49.5
非支配持分	84,619	2.3	89,112	2.4
純資産合計	1,856,225	50.8	1,866,710	51.9
負債及び純資産合計	3,653,686	100.0	3,594,476	100.0

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（第2四半期連結累計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	
	金額（百万円）	百分比（%）	金額（百万円）	百分比（%）
売上高	1,213,485	100.0	957,717	100.0
売上原価	855,318	70.5	699,812	73.1
販売費及び一般管理費	217,478	17.9	197,148	20.6
その他の営業収益（△費用）	1,293	0.1	△415	△0.0
営業利益	141,982	11.7	60,342	6.3
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	3,732	0.3	2,414	0.3
支払利息	△13,108	△1.1	△7,406	△0.8
その他（純額）	△4,394	△0.4	3,180	0.3
合計	△13,770	△1.1	△1,812	△0.2
税引前四半期純利益	128,212	10.6	58,530	6.1
法人税等	35,618	2.9	17,098	1.8
持分法投資損益調整前四半期純利益	92,594	7.6	41,432	4.3
持分法投資損益	1,730	0.1	1,189	0.1
四半期純利益	94,324	7.8	42,621	4.5
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	4,262	0.4	5,327	0.6
当社株主に帰属する四半期純利益	90,062	7.4	37,294	3.9
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的		95.40円		39.48円
希薄化後		95.32円		39.46円

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	94,324	42,621
その他の包括利益（△損失）－税控除後		
外貨換算調整勘定	△66,214	6,506
年金債務調整勘定	145	487
未実現デリバティブ評価損益	△1,231	252
合計	△67,300	7,245
四半期包括利益	27,024	49,866
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	△361	7,315
当社株主に帰属する四半期包括利益	27,385	42,551

（第2四半期連結会計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2019年7月1日 至 2019年9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 2020年7月1日 至 2020年9月30日	
	金額（百万円）	百分比（%）	金額（百万円）	百分比（%）
売上高	603,718	100.0	498,986	100.0
売上原価	427,961	70.9	365,092	73.2
販売費及び一般管理費	107,811	17.9	99,775	20.0
その他の営業収益（△費用）	△724	△0.1	△696	△0.1
営業利益	67,222	11.1	33,423	6.7
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	1,986	0.3	1,229	0.2
支払利息	△6,458	△1.1	△3,565	△0.7
その他（純額）	△1,448	△0.2	△1,054	△0.2
合計	△5,920	△1.0	△3,390	△0.7
税引前四半期純利益	61,302	10.2	30,033	6.0
法人税等	17,787	2.9	7,280	1.5
持分法投資損益調整前四半期純利益	43,515	7.2	22,753	4.6
持分法投資損益	1,062	0.2	638	0.1
四半期純利益	44,577	7.4	23,391	4.7
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	1,991	0.3	2,348	0.5
当社株主に帰属する四半期純利益	42,586	7.1	21,043	4.2
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的		45.11円		22.27円
希薄化後		45.07円		22.26円

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2019年7月1日 至 2019年9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 2020年7月1日 至 2020年9月30日	
	金額（百万円）		金額（百万円）	
四半期純利益	44,577		23,391	
その他の包括利益（△損失）－税控除後				
外貨換算調整勘定	△32,903		△8,148	
年金債務調整勘定	△183		223	
未実現デリバティブ評価損益	△517		489	
合計	△33,603		△7,436	
四半期包括利益	10,974		15,955	
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益	86		2,180	
当社株主に帰属する四半期包括利益	10,888		13,775	

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第2四半期 連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日
	金額（百万円）	金額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	94,324	42,621
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）への調整		
減価償却費等	64,683	64,713
法人税等繰延分	△330	△2,689
投資有価証券評価損益及び減損	△101	63
固定資産売却損益	△620	△99
固定資産廃却損	1,618	1,099
未払退職金及び退職給付債務の増減	△796	△237
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	56,322	72,882
たな卸資産の増減	△88,414	△32,499
支払手形及び買掛金の増減	△12,440	△25,801
未払法人税等の増減	△17,030	△1,406
その他（純額）	38,540	33,889
営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	135,756	152,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△91,837	△85,278
固定資産の売却	6,979	6,010
投資有価証券等の売却	525	21
投資有価証券等の購入	△492	△537
子会社及び持分法適用会社株式等の取得（現金取得額との純額）	△21,606	△1,717
その他（純額）	△267	1,477
投資活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△106,698	△80,024
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	230,299	407,541
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△228,337	△418,930
満期日が3カ月以内の借入債務の増減（純額）	45,511	△33,828
配当金支払	△55,719	△36,859
その他（純額）	△5,417	△4,938
財務活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△13,663	△87,014
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△872	1,340
現金及び現金同等物純増減額	14,523	△13,162
現金及び現金同等物期首残高	148,479	247,616
現金及び現金同等物四半期末残高	163,002	234,454

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,109,313	31,144	73,028	1,213,485	—	1,213,485
(2) セグメント間の内部売上高	2,361	3,639	701	6,701	△6,701	—
計	1,111,674	34,783	73,729	1,220,186	△6,701	1,213,485
セグメント利益	129,833	6,810	4,039	140,682	7	140,689

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	864,314	28,928	64,475	957,717	—	957,717
(2) セグメント間の内部売上高	12,236	3,824	463	16,523	△16,523	—
計	876,550	32,752	64,938	974,240	△16,523	957,717
セグメント利益	52,217	4,682	4,102	61,001	△244	60,757

前第2四半期連結会計期間（自2019年7月1日 至2019年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	548,715	15,678	39,325	603,718	—	603,718
(2) セグメント間の内部売上高	1,482	1,826	383	3,691	△3,691	—
計	550,197	17,504	39,708	607,409	△3,691	603,718
セグメント利益	61,144	3,406	3,485	68,035	△89	67,946

当第2四半期連結会計期間（自2020年7月1日 至2020年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	444,309	14,980	39,697	498,986	—	498,986
(2) セグメント間の内部売上高	6,430	1,851	219	8,500	△8,500	—
計	450,739	16,831	39,916	507,486	△8,500	498,986
セグメント利益	29,017	2,787	2,395	34,199	△80	34,119

（注）1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両セグメント

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、地下鉱山機械、環境リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. リテールファイナンスセグメント

販売金融

c. 産業機械他セグメント

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、光学機械

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結累計期間	183,835	471,643	183,373	74,145	238,305	62,184	1,213,485
当第2四半期連結累計期間	168,712	358,280	132,225	79,004	170,720	48,776	957,717

※ 日本及び中国を除きます。

前第2四半期連結会計期間（自2019年7月1日至2019年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自2020年7月1日至2020年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結会計期間	105,759	238,461	88,402	30,855	108,997	31,244	603,718
当第2四半期連結会計期間	94,469	185,131	69,943	32,304	89,127	28,012	498,986

※ 日本及び中国を除きます。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。